SGC75 正誤表

	（誤）	（正）
p19, line 1	f が全射であることは, $f^{-1}(B)=A$ であるということに他ならない	f が全射であることは, $\mathrm{Im}(f)=B$ であるということに他ならない
p21, line 12	直和, 直積は全単射による任意性を除いてそれぞれ s1),p2) の性質によって定められる	s1),p1)
p28, line -3	$S^{-1}R = K[[x-a]]$ （$x-a$ を変数とする形式的冪級数全体）となる．（そんなはずはない!）	$S^{-1}R$ は $K[[x-a]]$ （$x-a$ を変数とする形式的冪級数全体）の部分環とみなすことができる.
p40, line -1	準同型写像 $\varphi : M \otimes_R N \to X$	準同型写像 $\varphi : T' \to X$
p48, 定義 3.9	$\phi^{i+1} \circ d_X^i = d_Y^{i+1} \circ \phi^i$	$\phi^{i+1} \circ d_X^i = d_Y^i \circ \phi^i$
p48, line 16	$0_Y = \phi^{i+1} \circ d^i(x) = d^{i+1} \circ \phi^i(x)$	$0_Y = \phi^{i+1} \circ d^i(x) = d^i \circ \phi^i(x)$
p48, line 18	$H^i(\phi)(x') - H_1(\phi)(x) =$	$H^i(\phi)(x') - H^i(\phi)(x) =$
p49, 定義 3.11	$H(\phi) : X \to Y$	$H(\phi) : H(X) \to H(Y)$

	（誤）	（正）
p54, line 24	圏類次	圏類似
p55, (3.8)	$0 \to \mathrm{Im}(d^{i-1}) \to \mathrm{Ker}(d^i) \xrightarrow{\pi^i} H^i(V) \to 0$	$0 \to \mathrm{Im}(d^{i-1}) \to \mathrm{Ker}(d^i) \to H^i(V) \to 0$
p55, (3.9)	$0 \xrightarrow{\iota^i} \mathrm{Ker}(d^i) \to V^i \to \mathrm{Coim}(d^i) \to 0$	$0 \to \mathrm{Ker}(d^i) \to V^i \to \mathrm{Coim}(d^i) \to 0$
p58, line 4	3.7 節のタイトルと内容の関連について	複体の短完全列における Y を複体の写像 $d_{ZX} : Z \to X[1]$ の写像錘という.
p60, 定義 3.29	$\pi : X \to Z$ を経由する	$\pi : Y \to Z$
p61, 定義 3.34	可換図中の f と $\tilde{f}$	逆にする
p66, line 4	$\mathrm{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y) = \mathrm{Hom}_{\mathcal{C}^{\mathrm{op}}}(X, Y)$	$\mathrm{Hom}_{\mathcal{C}}(X, Y) = \mathrm{Hom}_{\mathcal{C}^{\mathrm{op}}}(Y, X)$
p74, line -3	の余核を $\mathrm{Im}(f) := \mathrm{Coker}(\iota)$ と定め, f の**像** (image) と呼ぶ.	の余核を $\mathrm{Coim}(f) := \mathrm{Coker}(\iota)$ と定め, f の**余像** (coimage) と呼ぶ.
p75, line 1	の核を $\mathrm{Coim}(f) := \mathrm{Ker}(\pi)$ と定め, f の**余像** (cokernel) と呼ぶ.	の核を $\mathrm{Im}(f) := \mathrm{Ker}(\pi)$ と定め, f の**像** (image) と呼ぶ.
p76～p77	定義 4.42 関連	「複体の写像」という言葉と「複体の射」という言葉は同一視してください.
p85, 定義 4.62	リフト $\tilde{f} : P \to Y$	リフト $\tilde{f} : P \to X$

	（誤）	（正）
p89, 定義 4.69	$\cdots \xrightarrow{p_1} P_1 \xrightarrow{p_1} P_0 \xrightarrow{p_0} X \to 0$	$\cdots \xrightarrow{p_2} P_1 \xrightarrow{p_1} P_0 \xrightarrow{p_0} X \to 0$